～注意情報～

蚊に刺されて起こる感染症に注意しましょう！

蚊は、ちょっとした水たまりがあれば、場所を問わず産卵します。意外と、身近にも蚊の発生源があります。**蚊の発生源となるちょっとした水たまりを可能な限りなくせば、ある程度蚊の発生を抑えることができます。蚊が媒介する病気を予防するには、蚊に刺されないようにすることが大切です。重要なポイントは２つです。**

ポイント１　蚊を増やさないこと

定期的（１週間に１度）に、蚊の発生源になる場所がないか確認をしてみましょう。

- □ **空き缶やペットボトル、空きビンなどが放置されていませんか**
- □ **庭の散水用に雨水をためている場合、定期的（1 週間に 1 回程度）に水抜きする等していますか**

- □ **植木鉢の水受け皿に水がたまったままになっていませんか**
- □ **雨どいや側溝が詰まって水がたまっていませんか**
- □ **古タイヤの中に水がたまっていませんか**
  ※古いタイヤにコップ半分ほどの塩を入れておくと、夏期の間ヤブカ類の発生を抑えることが期待できます。
- □ **注水タイプの旗立てや物干し用ベースのフタがとれたままになっていませんか**
- □ **お墓の花立てに水がたまったままになっていませんか**
- □ **なくせない水たまりは、定期的に清掃・水の交換をしましょう**
- □ **蚊の潜み場所になるヤブや草むらがあれば、雑草や樹木は定期的に刈り取り、剪定をして管理しましょう**

ポイント２　蚊に刺されないために

- ➢**屋内への蚊の侵入を防ぎましょう**
  ～網戸の破れを修理する。扉・窓の開閉時間を極力減らしたり、短くしたりする。
- ➢**肌の露出を減らしましょう**
  ～長袖シャツ、長ズボンを着用し、裸足でのサンダル履きを避ける～
- ➢**虫よけスプレーや、蚊取り線香などを上手に使いましょう**

※殺虫剤による蚊の駆除は一時的には効果がありますが、長続きしません。
蚊の発生自体を抑え、蚊に刺されない対策を行うことが大切です。

【蚊が媒介する感染症】

世界的に蚊を媒介した感染症は多く発生し、特に熱帯・亜熱帯地域で広く流行しています。日本国内ではこれまで流行したことのないものがほとんどですが、日本脳炎は毎年１０人程度発生しています。近年になって見つかった新しい感染症（チクングニア熱）もあります。

《デング熱の感染にご注意を！》

平成 26 年 8 月下旬以降、海外渡航歴がない患者について、国内でデング熱に感染したと考えられる患者が確認されました。その後も日本国内で海外渡航歴のないデング熱の患者（国内感染症例）が複数発生しました。

デング熱は、重症化することはまれなものの、発熱、頭痛、関節痛や発疹を主症状とする疾患で、ウイルスに感染した蚊に刺されることで発症します。デング熱に感染しないためには、海外旅行時だけではなく、日頃から蚊に刺されないように注意しましょう。

【お問合せ先】

北九州市保健福祉局感染症医療政策課

電話：093-582-2430